授業科	相名			器械運動	授業	形態 実技			授業科目区分		専門科目 (関連実技科E	専門科目 (関連実技科目)	
担当教員名 北川			淳一・村田 憲亮						補助担当者名		北川	北川 淳一	
単位数				1 単位	履修	3 年次			受け入れ人数		36名	36名程度	
授業の	一概要			体育で扱われている器械運動(マット、とび箱、鉄棒、平均台)についての実技指導を行う。 いた指導法を学習し、学校体育の指導者としての資質向上を図る。									
				極帯のかな口種		成績評価の方法							
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法				授業の到達目標			授業期間			定期	その他	割合	
							テスト	レポート	発表	試験		%	
			■認知 的領域	・各種目での段階的練習方法を理解す	る。	0						10	
			■情意 的領域	・積極的に授業に取り組む。		0						10	
			■技能 的領域	・各種目の課題を向上させる。		0	0					80	
成績評価の基準			実技授	E技授業への意欲的かつ積極的な取組み等の授業態度と出席状況、実技試験を総合的に評価する。									
テキスト、教材 金子明友著 教師のための器械運動指導法シリーズ「マット運動」「跳び箱・平均台運動」「鉄棒運動」(大修館書店) 太田昌秀・伊藤政男著「目で見る器械運動」((有)あすなろプリント)													
履修条件・ 1 関連科目 い。				次の開講科目「体操」を履修していることが望まし			備考(教員メッ 教員デセージ含む)			志望の学生は受講することを勧める。			
内座行口 V			V -0				この利			科目では授業の様子を撮影し、研究教育のため授業			
					う)			用することがある。(詳細は1回目の授業で説明を行					
オフィス・アワー 706 教官室、810 教官室(内線4976、4969)にて随時(但し、事前に申し出ること)													
授業計画													
回	担当教員名		,	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1		北川 淳一 村田 憲亮		授業全体の説明と柔軟体操、長なわとび									
2	村田 憲亮		Ę.	マット運動(1):前・後転(開脚、伸膝), 倒立前転、側転、等					体操練習室にて練習可				
3	"		,	マット運動(2):前方転回の段階的指導方法					体操練習室にて練習可				
4	"			マット運動(3):後方転回の段階的指導方法					体操練習室にて練習可				
5	n		,	マット運動(4):連続技(5 技)の練習					体操練習室にて練習可				
6	n		,	マット運動 (5) :連続技での接続方法					体操練習室にて練習可				
7	"			とび箱運動:開脚とび(きりかえし系)、頭はねとび(回転系)			体操練習室にて練習可						
8	"		Í	鉄棒運動 :上がり、回り、下り、連続、応用			体操練習室にて練習可						
9		"		平均台 :着台、ターン、ジャンプ、降りる					体操練習室にて練習可				
10	北川 淳一 村田 憲亮			技の習得と幇助法(マット運動)					体操練習室にて練習可				
11		n	i	技の習得と幇助法(とび箱運動)					体操練習室にて練習可				
12		"	i	技の習得と幇助法(鉄棒運動)					体操練習室にて練習可				
13	.3 "		1	技の習得と幇助法(平均台運動)					体操練習室にて練習可				
14	14 "			全体練習及び各種テスト					体操練習室にて練習可				
15	15 "			全体練習及び各種テスト					体操練習室にて練習可				